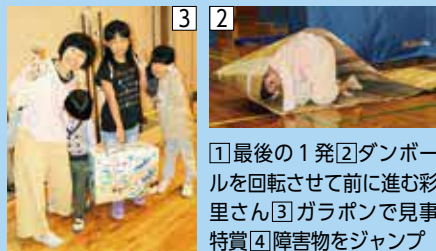




10/9
MON

来て後悔はなし



①最後の1発②ダンボールを回転させて前に進む彩里さん③ガラポンで見事特賞④障害物をジャンプ

⑤ローラーのついた円盤を中央めがけて投げる「カローリング」での期待を込めた一投⑥どこまで進むかな



総合体育館

『スポーツの日』に無料開放された体育館で、ニュースポーツの数々が行われました。9面の数字板をボールを投げて倒すストラックアウトや射的、障害物競走などに挑戦するため訪れた192人が、お目当ての競技に何度もトライ。子どもたちだけでなく保護者も楽しみ、最後はガラポンで賞品を獲得。皆さん満足げな様子でした。午前の部終了まで遊びつくした吉田彩里さん(小方小1)と兄の結翔くん(小4)。「どれも楽しかった。次も来たい」と満面の笑みの彩里さんと、「来て後悔はなし」とうなづく結翔くんでした。



10/1
SUN

きれいな川はみんなの努力から

玖島川親水公園・栗谷小学校

川の生きものを採集・観察し、自然環境を理解したり、環境を守ることへの関心を深めたりする「川の生きものの観察会」に参加した25人。採集の必需品「たもみ」の使い方を学び、早速採集開始。これは何「こつち」に何かいると見たことない生きものに興味津々です。ひざ下まで水につかり足もとがおぼつかない中でも、必死に草の下をあさったり、2人1組で行う待ち伏せ作戦をしたりして、みんなで約1時間かけて36種類の生きものを採集しました。

資料を見て採集した生きものを観察。「みんなの努力できれいな川の生きものがたくさんいる。この学習できれいさを知って、また参加するときにどう変わっているかを見てもらいたい」と川の状況とその環境を守ることの大切さを学んだ観察会でした。

採集した生きものを見つめ「平べったい虫は面白かったし、お魚もかわいかった。ナベブタムシはチョロってすると動くの」とうれしそうなお友達は「5歳は、次はかんちゃんと一緒に来たいな」と来れなかった1歳の妹とまた参加したいと話してくれました。



①「大きい」と笑うまこちゃん②じっくり観察③何が捕れたかな④「わぁ～すごい」とカエルに触れてうれしそう⑤採集は楽しみだけど学習も大切



PART2



9月23日 88歳のITエバンジェリスト(伝道師)として、デジタル社会の普及活動に東奔西走の若宮正子さんが、玖波公民館を訪れ『未来にフタをしない! 人生どんどん面白くなる!』と題した講演を行い、ホールは市内外から来場した300人の聴衆で埋め尽くされました。若宮さんは、高校卒業後銀行に勤務。58歳の頃からパソコンに興味を覚え、定年退職後は、アプリの開発などを手がけてきました。「お年寄りは何十年も培ってきた経験などの資産がある。新しい知識と合わせて英知や知恵に変えていくことが、これからの人工知能と暮らしていくためのキーワード」とメッセージを送る若宮さんです。講演後は壇上から降りて、親しく質問を受けていました。安芸太田町から来た斉藤マユミさんは「高齢者が意欲を持てる町にしていきたい」と若宮さんの話に刺激を受けたようでした。



10月1日 下瀬美術館で開催されている企画展『四谷シモンと金子國義——あどけない誘惑』の初日、人形作家の四谷シモンさんが訪れ、来館者を前にトークイベントを行いました。四谷シモンさんは70年代から唐十郎の『状況劇場』の俳優として舞台に立ち、やがて個性的な作風の人形作家として注目を集めるようになります。展示室で自身の作品『天使—澁澤龍彦に捧ぐ』を前に、10代の頃からの友人で画家の金子國義やフランス文学者の澁澤龍彦との交友関係や作品に対する思いを語り、来館者は耳を傾けていました。東広島市から来館した50代の女性は「お会いできたのでとてもうれしい。作品は目がとてもきれいで魅力的」と感激した様子でした。企画展は、令和6年1月14日(日)まで開催しています。観覧料: 大竹市民は1,500円(身分証明書が必要)。

お色直しストーンアート

晴海臨海公園

真つ青な空の初秋の午前、公園の入り口に設置された親子パンダのストーンアートの修復作業が行われました。作業にあたったのは、暴力監視追放協議会のメンバーなどと小方中学校の製作アート部の部員15人です。市内各地に設置されているストーンアート。およそ20年前から暴力監視追放協議会が、青少年の健全育成のため、児童・生徒、各種団体・企業と取り組み、地域に広がっていた活動です。近年は経年による退色が目立つようになり、順次塗り直しを始めています。

平成19年設置の親子パンダ2基は、白がくすんでいましたが、この日の作業で、艶のある白と黒を取り戻したようです。部長の原田乃愛さん(小方中2)は、「いろんな人に見られるので、うまく塗れるかなと思っていました。将来子どもができたなら、私が塗ったんだと言って連れて来たい」と汗をぬぐいます。真鍋和聡校長は「小方のまちをみんなで何とかなしようという気持ちが大切」と取り組みを通して自分たちのまちを愛する気持ちが育つことを願っていました。協議会では、今後も一つずつ修復を予定しています。



平成19年に設置したパンダも小方中製作アート部の生徒が描いていた。

続報

瀬戸内リレーマラソン in 大竹
とき 1月7日⑧ ところ 晴海臨海公園

【協賛募集中】 大会の開催に要する資金の提供、物品などの提供・貸与。
協賛募集期間 11月19日(日)まで

【出展募集中】 飲食物・特産品などの販売、アトラクションの提供・展示。

【参加申し込み受け付け中】 申込期間 11月30日(木)まで

問い合わせ
実行委員会事務局(生涯学習課内)
☎53-6677

出場、出展、協賛の申し込みや詳細については、右のQRコードの特設ホームページから

